注３ **大学番号：私239**

届出

［平成２８年度設置］

計画の区分：学部の設置

注１

名城大学　外国語学部

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名城大学
平成２８年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　経営本部総合政策部

職名・氏名　　課長　鈴木千敏（スズキチトシ）

電話番号　　０５２-８３８-２００４

（夜間）　　０５２-８３８-２００４

ＦＡＸ　　０５２-８３２-２３１７

ｅ－mail　　chitoshi@ccmails.meijo-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成２８年３月３０日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

外国語学部

＜国際英語学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５
６．留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８
７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　名城大学

（2）大　学　名

名　城　大　学

（3）大学の位置

〒４６１－８５３４
愛知県名古屋市東区矢田南四丁目１０２番９
（〒４６８－８５０２
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目５０１番地）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ オガサワラ　ヒデオ ） 小 笠 原 日 出 男 （ 平成２４年１月 ）		
学　　長	（ ヨシヒサ　コウイチ ） 吉　久　光　一 （ 平成２７年４月 ）		
学 部 長	（ｹｲｹｲｲﾕｳ ｱｰﾅﾝﾀﾞ ｸﾏｰﾗ） K.K.U. Ananda Kumara （ 平成２８年４月 ）		
学科長等			

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２６年度に報告済の内容　→（26）
平成２８年度に報告する内容　→（28）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２５年度開設の４年制の学科の場合（平成２８年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
外国語学部 国際英語学科 学士（外国語学部）	4	130	―	520	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人 130 （ ― ） [―]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.06倍	
志願者数	1,456 （ ― ） [―]	― （ ― ） [―]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
受験者数	1,397 （ ― ） [―]	― （ ― ） [―]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
合格者数	414 （ ― ） [―]	― （ ― ） [―]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
B　入学者数	138 （ ― ） [―]	― （ ― ） [―]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
入学定員超過率 B／A	1.06									

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平成３１年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] （ － ） 138	[－] （ － ） －	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	
２年次			[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	
３年次					[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	[　　] （　　）	
４年次							[　　] （　　）	[　　] （　　）	
計	[　－　] （　－　） 138		[　　] （　　）		[　　] （　　）		[　　] （　　）		

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数（内訳）			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成28年度入学者	138 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合　計	138 人	0 人					0.0 %

（注）・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜外国語学部　国際英語学科＞

（１） 授業科目表

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育部門	基軸科目		現代に生きる	1前		2		2					兼1	オムニバス
	発展科目	人間を考える	歴史と文化	1・2・3・4前		2		1						
			芸術と人間	1・2・3・4後		2							兼1	
			哲学	2・3・4前		2							兼1	
			心の科学	2・3・4後		2							兼1	
			文化人類学	2・3・4後		2		1						
		社会に生きる	日本国憲法	1・2・3・4前		2							兼1	
			経済学	1・2・3・4前		2							兼1	
			市民と社会	1・2・3・4後		2							兼1	
			ジェンダーと社会	2・3・4前		2							兼1	
			科学と技術の歩み	2・3・4後		2							兼1	
			海外留学入門	1・2・3・4前		2		1	1					オムニバス
		自然と生きる	人間と自然	1・2・3・4前		2							兼2	オムニバス
			地球と宇宙	1・2・3・4後		2							兼1	
			生命の多様性	2・3・4前		2							兼1	
			数と論理	2・3・4後		2							兼1	
	情報教育科目		コンピュータリテラシー	1・2・3・4前		2							兼1	
			ウェブデザイン	1・2・3・4後		2							兼1	
			情報社会と倫理	1後	2								兼1	
	体育科目		健康･スポーツ科学Ⅰ	1前		1							兼2	
			健康･スポーツ科学Ⅱ	1後		1							兼2	
	キャリア教育科目		キャリア形成論	2・3・4前		2							兼1	
			インターンシップ	2・3・4前		2		1						集中
			日本とグローバル人材	1・2・3・4後		2		1						
専門教育部門	外国語科目群	第一外国語科目	英語コミュニケーションⅠ(基礎1)	1前	2				2	6	1			
			英語コミュニケーションⅡ(基礎2)	1後	2				2	6	1			
			英語コミュニケーションⅢ(応用1)	2前	2				2	5	1		兼1	
			英語コミュニケーションⅣ(応用2)	2後	2				2	5	1		兼1	
			英語コミュニケーションⅤ(発展)	3前	2				1	6	1		兼1	
			英語リーディングⅠ(基礎1)	1前	1				2	4	1		兼1 兼2	時間割編成の都合により担当者数を変更(28)
			英語リーディングⅡ(基礎2)	1後	1				2	4	1		兼1 兼2	時間割編成の都合により担当者数を変更(28)
			英語リーディングⅢ(応用1)	2前	1			1	1	3			兼4	
			英語リーディングⅣ(応用2)	2後	1			1	1	3			兼4	
			英語リーディングⅤ(発展)	3後	1			1	1	6			兼1	
			英語ライティングⅠ(基礎1)	1前	1			1	1	2	1		兼2 兼4	時間割編成の都合により担当者数を変更(28)
			英語ライティングⅡ(基礎2)	1後	1			1	1	2	1		兼2 兼4	時間割編成の都合により担当者数を変更(28)
			英語ライティングⅢ(応用1)	2前	1				1	3	1		兼4	
			英語ライティングⅣ(応用2)	2後	1				1	3	1		兼4	
			英語ライティングⅤ(発展)	3後	1			1	1	6			兼1	
			英語ディスカッションⅠ(基礎1)	1前	1				1	2	1		兼5	
			英語ディスカッションⅡ(基礎2)	1後	1				1	2	1		兼5	
			英語ディスカッションⅢ(応用1)	2前	1				2	3			兼4	
			英語ディスカッションⅣ(応用2)	2後	1				2	3			兼4	
			パブリック・スピーキング	3前	1				2	3	1		兼3	
			ディベート	3後	1				2	3	1		兼3	

専門教育部門	外国語科目群	第二外国語科目	中国語入門Ⅰ	2前		1			1				兼1	
			中国語入門Ⅱ	2前		1			1				兼1	
			中国語初級Ⅰ	2後		1			1				兼1	
			中国語初級Ⅱ	2後		1			1				兼1	
			中国語中級Ⅰ	3前		1			1					
			中国語中級Ⅱ	3前		1			1					
			中国語応用Ⅰ	3後		1			1					
			中国語応用Ⅱ	3後		1			1					
			韓国語入門Ⅰ	2前		1		1						
			韓国語入門Ⅱ	2前		1		1						
			韓国語初級Ⅰ	2後		1		1						
			韓国語初級Ⅱ	2後		1		1						
			韓国語中級Ⅰ	3前		1		1						
			韓国語中級Ⅱ	3前		1		1						
			韓国語応用Ⅰ	3後		1		1						
			韓国語応用Ⅱ	3後		1		1						
			フランス語入門Ⅰ	2前		1							兼1	
			フランス語入門Ⅱ	2前		1		1						
			フランス語初級Ⅰ	2後		1							兼1	
			フランス語初級Ⅱ	2後		1		1						
			フランス語中級Ⅰ	3前		1							兼1	
			フランス語中級Ⅱ	3前		1		1						
			フランス語応用Ⅰ	3後		1							兼1	
			フランス語応用Ⅱ	3後		1		1						
			スペイン語入門Ⅰ	2前		1							兼1	
			スペイン語入門Ⅱ	2前		1							兼1	
			スペイン語初級Ⅰ	2後		1							兼1	
			スペイン語初級Ⅱ	2後		1							兼1	
			スペイン語中級Ⅰ	3前		1							兼1	
			スペイン語中級Ⅱ	3前		1							兼1	
			スペイン語応用Ⅰ	3後		1							兼1	
			スペイン語応用Ⅱ	3後		1							兼1	
	専門基礎科目群		英語学概論	1前	2			1						
			英米文学概論	1前	2				1				兼1	オムニバス
			異文化理解	1後	2			2						オムニバス
		選択必修科目枠①	英語音声学	1後		2		1						
			英語の構造と仕組み	2前		2		1						
			コミュニケーションのための英文法	2後		2		1						
			イギリス文学研究	2前		2							兼1	
			アメリカ文学研究	2後		2			1					
			インタラクティブ・イングリッシュⅠ	2前		2			2		1			
			インタラクティブ・イングリッシュⅡ	2後		2			2		1			
			異文化コミュニケーション	2前		2			1					
			多文化共生論	2後		2		1						
		選択必修科目枠②	日本中世近世史	1後		2							兼1	
			日本文学研究	2後		2		1						
			日本の伝統文化	2前		2		1						
			日本の先端文化	2後		2							兼1	
			アジアを学ぶ	1前	2			1						
			地域研究論	1後		2		1						

専門教育部門	専門基幹科目群		アカデミック・イングリッシュⅠ	1後		2			2				
			アカデミック・イングリッシュⅡ	2前		2			2				
			メディア・イングリッシュⅠ	3前		2			1		1		
			メディア・イングリッシュⅡ	3後		2			1		1		
			英語の拡がりと多様性	3後		2		1					
			第二言語習得論	2前		2			1				
			英語科教育法Ⅰ	2前		2			1				
			英語科教育法Ⅱ	2後		2			1				
		選択必修科目枠	アメリカ地域研究	2前		2		1					
			イギリス地域研究	2後		2						兼1	
			中国地域研究	2前		2			1				
			韓国地域研究	2後		2		1					
			ベトナムの言語と文化Ⅰ	3前		2						兼1	
			ベトナムの言語と文化Ⅱ	3後		2						兼1	
			タイの言語と文化Ⅰ	3前		2		1					
			タイの言語と文化Ⅱ	3後		2		1					
			インドネシアの言語と文化Ⅰ	3前		2						兼1	
			インドネシアの言語と文化Ⅱ	3後		2						兼1	
			国際フィールドワークⅠ(英語圏)	3前		4		1					※講義
			国際フィールドワークⅡ(非英語圏)	3後		4		1					※講義
			海外研修	2前		4		1					※講義
			日本近現代史	2前	2			1					
			日本の宗教	2後		2						兼1	
			日本の経済	2前		2		1					
			日本の政治	2後		2		1					
			現代の日本社会	3後		2						兼1	
			パブリックリレーションズ	2前		2						兼1	
			仏教文化論	2前		2						兼1	
			キリスト教文化論	2前		2						兼1	
			イスラム教文化論	2後		2						兼1	集中
	専門展開科目群		英語通訳演習	3・4後		2						兼1	
			ビジネス英語	3・4前		2						兼1	
			英語プレゼンテーション	3・4前		2			1		2		
			英語科指導法Ⅰ	3前		2			1				
			英語科指導法Ⅱ	3後		2			1				
			日本のものづくり	3・4前		2						兼1	
			日本のツーリズム	3・4後		2		1					
			国際関係論	3・4前		2		1					
			国際経済論	3・4後		2						兼1	
			近現代の日中関係	3・4後		2						兼1	
			近現代の日韓関係	3・4前		2						兼1	
			アセアン事情	3・4前		2		1					
			南アジア事情	3・4後		2		1					
			ヨーロッパの文学と社会	3・4後		2		1					
	ゼミナール科目群		基礎演習Ⅰ	1前	2			8	3				
			基礎演習Ⅱ	1後	2			8	3				
			基礎演習Ⅲ	2前		2		5					
			基礎演習Ⅳ	2後		2		5					
			ゼミナールⅠ	3前	2			9	4				
			ゼミナールⅡ	3後	2			9	4				
			ゼミナールⅢ	4前	2			9	4				
			ゼミナールⅣ	4後	2			9	4				

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２７年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは

赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

- 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
- 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	114	0	147	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	変更なし

（注）
- 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画か記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
- 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	借用地 ~~【校舎敷地】~~ ~~貸主：蒲郡市~~ ~~借用面積：~~ ~~200.00㎡~~ ~~借用期間：~~ ~~平成16年6月1日から25年10か月間~~ 蒲郡市からの申出による借用契約終了、区分変更（その他→校舎敷地）、可児市からの申出による一部売却により、校舎敷地面積の増加及びその他面積の減少（28）
	校舎敷地	222,617.33㎡ ~~222,371.75㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	222,617.33㎡ ~~222,371.75㎡~~	
	運動場用地	174,962.29㎡	0.00㎡	0.00㎡	174,962.29㎡	
	小　　計	397,579.62㎡ ~~174,962.29㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	397,579.62㎡ ~~174,962.29㎡~~	
	そ の 他	156,594.89㎡ ~~157,916.92㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	156,594.89㎡ ~~157,916.92㎡~~	
	合　　計	554,174.51㎡ ~~332,879.21㎡~~	0.00㎡	0.00㎡	554,174.51㎡ ~~332,879.21㎡~~	

(2) 校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	新築建物（3棟）建設により、専用面積増加（28）
	241,907.05㎡ ~~234,545.45㎡~~ (227,515.36㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	241,907.05㎡ ~~234,545.45㎡~~ (227,515.36㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更に伴う部屋数の変更（28） 教育効果向上のため、補助職員を増員（28）
	167室 ~~176室~~	155室 ~~135室~~	231室 ~~223室~~	26室 ~~29室~~ 11 （補助職員 ~~9~~人）	5室 5 （補助職員~~0~~人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	外国語学部　国際英語学科	19　　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	届出学部全体 ※視聴覚資料は、大学全体での共用分 大学全体での共用分 ・学術雑誌 〔4,385〕 ~~〔4,241〕~~ ・電子ジャーナル 〔16,795〕 ~~〔21,100〕~~ 図書及び学術雑誌の整備計画変更に伴う冊数の変更（28） 契約変更に伴う電子ジャーナル（共用分）の減少（28） 新たに建設した建物3棟分の実績を計上したため、機械・器具が増加（28）
	外国語学部 国際英語学科	93,208〔35,672〕 (94,149〔26,602〕) ~~(90,700〔34,936〕)~~	35〔21〕 (28〔17〕) ~~(35〔21〕)~~	2〔2〕 (1〔1〕) ~~(2〔2〕)~~	26,947 (27,798) ~~(26,919)~~	39 ~~34~~ (19) ~~(14)~~	0 (0)	
	計	93,208〔35,672〕 (94,149〔26,602〕) ~~(90,700〔34,936〕)~~	35〔21〕 (28〔17〕) ~~(35〔21〕)~~	2〔2〕 (1〔1〕) ~~(2〔2〕)~~	26,947 (27,798) ~~(26,919)~~	39 ~~34~~ (19) ~~(14)~~	0 (0)	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体 面積、閲覧座席数及び収納可能冊数の確定による変更（28）
	16,947.65㎡ ~~16,959.93㎡~~	1,872席 ~~1,850席~~	1,655,133冊 ~~1,677,547冊~~	

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体 面積が確定したことによる減少（28）
	10,128.26㎡ ~~10,136.24㎡~~	テニスコート	プール	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書購入費には電子ジャーナル購入費用を含む 予算の変更に伴う共同研究費等の変更（28）
		教員１人当り研究費等	402千円	408千円	図書購入費	33,560千円	10,000千円	10,000千円	
		共同研究費等	3,124千円 ~~3,600千円~~	3,408千円 ~~4,000千円~~	設備購入費	19,096千円	5,000千円	5,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金，資産運用収入，雑収入　等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２８年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大学の名称	名城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
法学部						1.07			
法学科	4	400	—	1,480	学士 (法学)	1.06	平成 11年度		平成28年度入学定員増（40人）
応用実務法学科	4	—	—	—	学士 (法学)	—	平成 11年度		平成28年4月より学生募集停止
経営学部						1.13			
経営学科	4	195	—	780	学士 (経営学)	1.11	平成 12年度		
国際経営学科	4	90	—	360	学士 (経営学)	1.17	平成 12年度		
経済学部						1.13			
経済学科	4	185	—	740	学士 (経済学)	1.12	平成 12年度		
産業社会学科	4	100	—	400	学士 (経済学)	1.14	平成 12年度		
理工学部						1.08			
数学科	4	85	—	340	学士 (理学)	1.06	平成 12年度	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
情報工学科	4	145	—	580	学士 (工学)	1.06	平成 16年度		
電気電子工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.08	平成 12年度		
材料機能工学科	4	65	—	260	学士 (工学)	1.10	平成 12年度		
応用化学科	4	60	—	240	学士 (工学)	0.95	平成 25年度		
機械工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.10	平成 12年度		
交通機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成 12年度		
メカトロニクス工学科	4	75	—	300	学士 (工学)	1.13	平成 25年度		
社会基盤デザイン工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.18	平成 12年度		
環境創造学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.03	平成 12年度		
建築学科	4	135	—	540	学士 (工学)	1.14	平成 12年度		

農学部						1.10			
生物資源学科	4	100	—	400	学士（農学）	1.10	平成11年度		
応用生物化学科	4	100	—	400	学士（農学）	1.15	平成11年度		
生物環境科学科	4	100	—	400	学士（農学）	1.05	平成17年度		
薬学部						1.08		愛知県名古屋市天白区八事山150番地	
薬学科（6年制）	6	250	—	1,500	学士（薬学）	1.08	平成18年度		
都市情報学部						1.10		岐阜県可児市虹ヶ丘四丁目３番の３	平成29年4月1日からナゴヤドーム前キャンパスに移転予定（愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9）
都市情報学科	4	200	—	800	学士（都市情報学）	1.10	平成7年度		
人間学部						1.12		愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	平成29年4月1日からナゴヤドーム前キャンパスに移転予定（愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9）
人間学科	4	200	—	800	学士（人間学）	1.12	平成15年度		
外国語学部						1.06		愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9	
国際英語学科	4	130	—	130	学士（外国語学）	1.06	平成28年度		

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	—	30	修士（法学）	0.16	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	—	24	博士（法学）	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻								愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地	
修士課程	2	20	—	40	修士（経営学）	0.95	平成13年度		
博士後期課程	3	3	—	9	博士（経営学）	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	—	20	修士（経済学）	0.55	平成12年度		
博士後期課程	3	3	—	9	博士（経済学）	0.11	平成14年度		

大学院理工学研究科 数学専攻 博士前期課程	2	8	—	16	修士 (理学)	0.56	平 成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (理学)	0.00	平 成 7年度		
情報工学専攻 修士課程	2	30	—	60	修士 (工学)	0.73	平 成 14年度		
電気電子工学専攻 博士前期課程	2	20	—	40	修士 (工学)	1.77	平 成 14年度		
材料機能工学専攻 修士課程	2	30	—	60	修士 (工学)	1.23	平 成 14年度		
機械システム工学専攻 修士課程	2	20	—	40	修士 (工学)	1.82	平 成 14年度		
交通機械工学専攻 修士課程	2	16	—	32	修士 (工学)	1.31	平 成 14年度		
建設システム工学専攻 修士課程	2	20	—	40	修士 (工学)	0.60	平 成 14年度		
環境創造学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (工学)	0.40	平 成 14年度		
建築学専攻 修士課程	2	16	—	32	修士 (工学)	0.68	平 成 14年度		
電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	—	30	博士 (工学)	0.40	平 成 5年度		
機械工学専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士 (工学)	0.40	平 成 4年度		
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士 (工学)	0.20	平 成 4年度		
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	—	40	修士 (農学)	0.97	昭 和 48年度		
博士後期課程	3	5	—	15	博士 (農学)	0.06	昭 和 51年度		

大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程（4年制）	4	4	—	16	博士 （薬学）	1.75	平　成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山150 番地	
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程 博士後期課程	2 3	8 4	— —	16 12	修士 （都市 情報学） 博士 （都市 情報学）	0.93 0.16	平　成 11年度 平　成 13年度	岐阜県可児市 虹ヶ丘四丁目 ３番の３	平成29年4月1日からナゴヤドーム前キャンパスに移転予定（愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9）
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士 （人間学）	0.12	平　成 23年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	平成29年4月1日からナゴヤドーム前キャンパスに移転予定（愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9）
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程 博士後期課程	2 3	8 4	— —	16 12	修士 （学術） 博士 （学術）	0.12 0.41	平　成 14年度 平　成 14年度		
大学院大学・学校づくり研究科 大学・学校づくり専攻 修士課程	2	—	—	—	修士 （教育 経営）	—	平　成 18年度		平成27年4月より学生募集停止
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	25	—	90	法務博士 （専門職）	0.25	平　成 16年度		平成27年度入学定員減（△15人）

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２８年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜外国語学部　国際英語学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	K.K.U. Ananda Kumara (Konpity Kankanamalage Upali Ananda Kumara)	平成28年4月	現代に生きる※ 日本とｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ人材 ｱｼﾞｱを学ぶ ｱｾｱﾝ事情 南ｱｼﾞｱ事情 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	藤田　衆	平成28年4月	ﾌﾗﾝｽ語入門Ⅱ ﾌﾗﾝｽ語初級Ⅱ ﾌﾗﾝｽ語中級Ⅱ ﾌﾗﾝｽ語応用Ⅱ ﾖｰﾛｯﾊﾟの文学と社会 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	村田　泰美	平成28年4月	海外留学入門※ 英語学概論 異文化理解※ 英語の構造と仕組み ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのための英文法 英語の拡がりと多様性 海外研修 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	堅田　義明	平成28年4月	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 日本近現代史 日本の経済 日本の政治 国際関係論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	二神　真美	平成28年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 異文化理解※ 多文化共生論 ｱﾒﾘｶ地域研究 国際ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅠ（英語圏） 日本のﾂｰﾘｽﾞﾑ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	岩井　眞實	平成28年4月	現代に生きる ※ 歴史と文化 日本文学研究 日本の伝統文化 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	西尾　由里	平成28年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語音声学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	呉　大煥	平成29年4月	韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ 韓国語初級Ⅰ 韓国語初級Ⅱ 韓国語中級Ⅰ 韓国語中級Ⅱ 韓国語応用Ⅰ 韓国語応用Ⅱ 韓国地域研究 ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	教授	津村　文彦	平成28年4月	文化人類学 地域研究論 タイの言語と文化Ⅰ タイの言語と文化Ⅱ 国際ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸⅡ（非英語圏） 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	准教授	Gregory John Minehane	平成28年4月	海外留学入門 ※ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	柳沢　秀郎	平成28年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英米文学概論※ ｱﾒﾘｶ文学研究 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	准教授	松浦　周子	平成29年4月	中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ 中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語中級Ⅰ 中国語中級Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ 中国地域研究 ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	准教授	藤原　康弘	平成28年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 第二言語習得論 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科指導法Ⅰ 英語科指導法Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	准教授	Paul David Wicking	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2） ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ・ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	Max Praver	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ ﾒﾃﾞｨｱ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ﾒﾃﾞｨｱ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ 英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ						
専	准教授	宮崎　新	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅢ ｾﾞﾐﾅｰﾙⅣ						
専	講師	Paul David Dickinson	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	Patrick Scott Rates	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展）						
専	講師	Anthony Brian Gallagher	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ						
専	講師	中山　麻美	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	Staci-Anne R Ali	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2）						
専	講師	Ian Matthew Roth	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ						
専	助教	Tanja Marie McCandie	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2） ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ｲﾝﾀﾗｸﾃｨﾌﾞ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ 英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	James Martin Rogers	平成28年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ ﾒﾃﾞｨｱ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ ﾒﾃﾞｨｱ･ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ 英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ						
兼担	講師	鈴木　英夫	平成30年4月	国際経済論						
兼担	講師	池上　彰	平成28年4月	経済学 ｲｽﾗﾑ教文化論						
兼担	講師	垣鍔　直	平成28年4月	人間と自然※						
兼担	講師	伊藤　康児	平成29年4月	心の科学						
兼担	講師	伊藤　俊一	平成28年4月	日本中世近世史						
兼担	講師	長尾　晃宏	平成29年4月	ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸﾘﾚｰｼｮﾝｽﾞ						
兼担	講師	大野　栄治	平成28年4月	現代に生きる※						
兼担	講師	渋井　康弘	平成29年4月	科学と技術の歩み						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	講師	西山　徹	平成28年4月	英米文学概論※ ｲｷﾞﾘｽ文学研究						
兼担	講師	齊藤　毅	平成28年4月	地球と宇宙						
兼担	講師	冨岡　徹	平成28年4月	健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学Ⅰ 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学Ⅱ						
兼担	講師	Mark Simeon Rebuck	平成28年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2）						
兼担	講師	谷口　義則	平成28年4月	人間と自然※						
兼担	講師	山谷　克	平成29年4月	数と論理						
兼担	講師	田中　武憲	平成30年4月	日本のものづくり						
兼担	講師	榎本　雅記	平成28年4月	市民と社会						
兼担	講師	三浦　彩子	平成28年4月	芸術と人間						
兼担	講師	村上　広一	平成28年4月	情報社会と倫理						
兼担	講師	蓑輪(田辺)明子	平成29年4月	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰと社会						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮浦　国江	平成28年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	兼任	講師	宮浦　国江	平成29年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	
					―	―	後任なし	―	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2）	時間割編成の都合により開講数を削減したため担当科目から削除(28)
兼任	講師	金　光旭	平成30年4月	近現代の日韓関係						
兼任	講師	Robert Patrick Gee	平成30年4月	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語						
兼任	講師	黒田　由彦	平成30年4月	現代の日本社会 近現代の日中関係						
兼任	講師	吉田　文久	平成28年4月	健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学Ⅰ 健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学Ⅱ						
兼任	講師	長沼　美香子	平成30年4月	英語通訳演習						
兼任	講師	加藤　普由子	平成29年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2）						
兼任	講師	Steven John Polzin	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2）						
兼任	講師	西井　和弥	平成29年4月	中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ 中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	丹山　美香	平成29年4月	ｷｬﾘｱ形成論						
兼任	講師	Brent Simmonds	平成29年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Douglas William Sweetlove	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ(基礎1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ(基礎2) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ(応用1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ(応用2) ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ	兼任	講師	Douglas William Sweetlove	平成29年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ(応用1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ(応用2) ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ	
					兼任	講師	Melvin Robin Moore	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ(基礎1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ(基礎2)	時間割運営上の都合により担当者を変更(28)
兼任	講師	野呂　達哉	平成29年4月	生命の多様性						
兼任	講師	山崎ランサム和彦	平成29年4月	ｷﾘｽﾄ教文化論						
兼任	講師	齋藤　滋	平成29年4月	仏教文化論 日本の宗教						
兼任	講師	岩田　晶子	平成30年4月	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの言語と文化Ⅰ ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの言語と文化Ⅱ						
兼任	講師	Philip Salvatore Riccobono	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ(基礎1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ(基礎2) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ(応用1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ(応用2) ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ						
兼任	講師	ｶﾅﾑﾗ　ｸﾐ 金村　久美	平成30年4月	ﾍﾞﾄﾅﾑの言語と文化Ⅰ ﾍﾞﾄﾅﾑの言語と文化Ⅱ						
兼任	講師	Darren Raymond Elliott	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ(基礎1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ(基礎2) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ(応用1) 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ(応用2) ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｽﾋﾟｰｷﾝｸﾞ ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	大屋　慶太	平成28年4月	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ						
兼任	講師	竹田　真紀子	平成28年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	兼任	講師	竹田　真紀子	平成29年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	
					―	―	後任なし	―	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2）	時間割編成の都合により開講数を削減したため担当科目から削除(28)
兼任	講師	大達　誉華	平成28年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2）	兼任	講師	大達　誉華	平成29年4月	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅣ（応用2）	
					兼任	講師	児玉　恵太	平成28年4月	英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅠ（基礎1） 英語ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝⅡ（基礎2）	時間割運営上の都合により担当者を変更(28)
兼任	講師	Clinton Hugh Weyand	平成29年4月	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ（応用1） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅣ（応用2） 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅤ（発展） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅤ（発展） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅤ（発展）						
兼任	講師	小林　智	平成29年4月	哲学						
兼任	講師	木下　智統	平成29年4月	ｽﾍﾟｲﾝ語入門Ⅱ ｽﾍﾟｲﾝ語初級Ⅱ ｽﾍﾟｲﾝ語中級Ⅱ ｽﾍﾟｲﾝ語応用Ⅱ						
兼任	講師	Thomas Joseph Fallon	平成28年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	兼任	講師	Thomas Joseph Fallon	平成29年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2）	
					―	―	後任なし	―	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2）	時間割編成の都合により開講数を削減したため担当科目から削除(28)
兼任	講師	エルビーニア　ユリア	平成29年4月	ｽﾍﾟｲﾝ語入門Ⅰ ｽﾍﾟｲﾝ語初級Ⅰ ｽﾍﾟｲﾝ語中級Ⅰ ｽﾍﾟｲﾝ語応用Ⅰ						
兼任	講師	大澤　広晃	平成29年4月	ｲｷﾞﾘｽ地域研究						
兼任	講師	水内　智英	平成29年4月	日本の先端文化						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	蜂須賀　知美	平成28年4月	日本国憲法						
兼任	講師	Fleur Danielle Ogura	平成28年4月	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅣ（応用2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠ（基礎1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡ（基礎2） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅢ（応用1） 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅣ（応用2）						
兼任	講師	佐々木　稔	平成29年4月	ﾌﾗﾝｽ語入門Ⅰ ﾌﾗﾝｽ語初級Ⅰ ﾌﾗﾝｽ語中級Ⅰ ﾌﾗﾝｽ語応用Ⅰ						

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２８年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
　　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２）専任教員数等

（２）－①　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
9 (8)	7 (6)	6 (6)	2 (2)	24 (22)	8	6	6	2	22	9 [0]	7 [0]	6 [0]	2 [0]	24 [0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－②　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
※H7.4.1以前採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1採用者：68歳 65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２８年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
-	-	-	必修	-	-	該当なし
			選択	-	-	
			必修	-	-	

合計（A）			後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
- 人	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目
	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
-	-	-	必修	-	-	該当なし
			選択	-	-	
			必修	-	-	

合計（C）			後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
- 人	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目
	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）			後任補充状況の集計（B）＋（D）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
- 人	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目
	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
―	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜外国語学部　国際英語学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学では教育の質の向上に向けた全学的なFD活動及び各学部等のFD活動を支援することを目的とした「FD委員会要項」を定めており、各学部等においても全学的な取り組みと連動しながらFD活動を実施しています。
外国語学部においては、教授会のもとにFD委員会を設置し、FD委員会委員長を議長として審議を行う予定です。なお、外国語学部のFD委員会に係る規程は、現在、策定中です。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会(平成28年度委員4名)は、年4回程度開催する予定です。

ｃ　委員会の審議事項等

FD委員会では、教育内容、教育方法、教育技法の改善等について、審議を行います。

②　実施状況

ａ　実施内容

・ 学生による授業評価アンケートの実施及び検証
・ FDに関する研修会の実施
・ 新たな教育方法の導入
・ 教員相互の授業参観
・ 教育活動発表会の実施
・ その他FDに関わる事項

ｂ　実施方法

FD委員会において実施内容を検討の上、教授会に諮り、外国語学部として組織的に取り組んでいきます。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は年4回（前期に2回、後期に2回）程度開催する予定です。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成28年5月1日時点では未実施ですが、今後、FD委員会で実施内容を検討し、外国語学部として組織的に授業改善に取り組んでいきます。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

全学的な組織である大学教育開発センターが主体となり、全学部において前期授業及び後期授業終了時に授業改善アンケートを実施しています。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業改善アンケート結果については、教員別の調査結果を除き、調査結果報告書として、ウェブサイトで公開します（教員別の調査結果については、冊子により事務室等で教員、学生に公開します）。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

外国語学部は、グローバル人材の育成という社会の要請に基づき設置されました。外国語学部の人材養成目的は、以下のとおりです。
「外国語学部は、国際化の推進を理念とし、グローバリゼーションが深化する世界において求められる実践的なコミュニケーション力を有し、国境を越えて活躍できる、以下に掲げる能力を備えた人材の養成を目的とする。
①　グローバル化社会の最前線で活躍できる英語の運用能力を有した人材
②　アジアをはじめとする海外の事情に通じ、異文化や国際社会に対して深い理解力を持った人材
③　日本の歴史、文化、社会を深く理解し、日本の立場や事情を世界に発信する能力を備え、グローバル化社会を切り開いて行くことができる人材」
学部開設後1ヶ月の時点で、設置の趣旨・目的の達成状況の評価として学生の受け入れ状況の検証を行うと、開設初年度である平成28年度の学生の受け入れ状況は、入学定員130名に対して、志願者数1,456名、受験者数1,397名、合格者数414名、入学者数138名でした。このことから、外国語学部が養成を目指すグローバル人材に対して、社会のみならず、高校生の中にも高い需要があるといえます。また、入学定員超過率は1.06[138名（入学者数）/130名（入学定員）]であることから、ほぼ定員どおり入学者を確保しており、入学定員は適切に管理されているといえます。今後も設置計画に基づき、外国語学部はグローバル人材の育成を行っていきます。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

ｂ　公表方法

本学では開学100周年にあたる平成38（2026）年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026」【通称：MS-26】を策定しており、毎年、全学版及び各部署版を作成することにより、自己点検・評価に係るPDCAを実施しています。具体的には、各部署が年度当初に立てた事業計画に対して、9月頃に常勤理事との面談を踏まえて中間自己評価を行い、その検証結果を踏まえて次年度以降の戦略プラン見直しや事業計画の立案に反映させています。また、年度末にはMS-26に係る全学的な成果として、「MS-26アニュアルレポート（活動報告書）」を取りまとめ、6月頃に名城大学ホームページに掲載する予定となっています。

③　認証評価を受ける計画

本学は平成27年度に大学基準協会による第2期認証評価を受審し、平成28年3月に「大学基準に適合している」との評価結果を受けました。今後、指摘事項に対して改善に向けた取り組みを行い、教育研究の質保証・向上を目指していきます。なお、外国語学部については、第3期認証評価において受審する予定です。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成28年度分は、平成28年5月末日に公表予定　）